



資料館だより

No.12
2007年
5月号

過去と未来がひびきあう
ようこそ、エコミューズへ。
www.aozora.or.jp/shiryou/



エコミューズ開館1周年記念 みんなで歩こう 西淀川の歴史めぐり

おかげさまで、エコミューズが開館1周年を迎えました。あおぞら財団付属施設「西淀川・公害と環境資料館」の看板をかかげたのが2006年3月18日。これまで400人を超える方々が来館しています。



大和田住吉神社の前で

普段は資料館の中で資料や展示を見てもらうことが多いのですが、記念イベントではいつもとは趣向を変えて、西淀川地域を歩き、歴史や街を体感しようと、「みんなで歩こう 西淀川の歴史めぐり」(主催:あおぞら財団、エコミューズ/後援:大阪市教育委員会)を3月25日に開催しました。地元の小学生から大人まで17人が参加して、ウォーキングマップを片手に街を歩きました。

前夜から降り続く雨に、延期するかどうか思案しましたが、



きらびやかな幕にびっくり

参加者はその後も約3キロ歩きました。

コースの途中、姫嶋神社では偶然にも、約130年前につくられた、だんじりの見送り幕の修復後の姿を見ることができました(写真)。きっとまだまだ西淀川区には「お宝」があるはず。いろんな「お宝」を探しに私たちと出かけましょう。

エコミューズのこれまでとこれから考えます 第1回運営協議会がひらかれる

エコミューズの基本方針や活動内容について広く意見を聞く場として「運営協議会」をあらたに設置し、3月15日に第1回の会合を開きました。メンバーは博物館の学芸員や大学の研究者、自治体の市史編纂担当者、公害裁判にかかわった弁護士などです。他の機関とのネットワークづくりや資料公開のあり方などについて議論をしました。

金沢大学から留学生グループ来館 日本の公害経験、住民運動に驚きの声

金沢大学から留学生グループが3月9日にエコミューズを訪れました。中国からの留学生が9人、タイから1人、担当教員1人の計11人です。ディスカッションでは日本の



資料に見入る留学生たち

補償法が果たした役割や中国の環境問題の現状など、多岐に及びました。後日、留学生たちからは次のような感想が届きました。

- ・「日本はとても住みやすく、環境も良い国だと思っていました。まさか環境の汚染で人が病気になるとは思いませんでした」
- ・「経済の発展と共に、人間として忘れてはいけない何かを忘れて生きているんだなと実感しました」
- ・「子孫のために被害者が積極的に苦痛を訴える信念はとても大切だと思います」
- ・「聞きたいいくつかの事例は公害問題の原因を探る過程ではなく、国民の環境を守る法律を作るための政府と対立した戦いだったと思います」
- ・「中国でも青空を見れるのは、日本の経験から自信付けられました」



公害健康被害補償法を守るたたかい

臨調闘争ピラ No.1 ~ 103

公害患者さんの生活を支えている法律があります。公害健康被害補償法です。1973年にできた法律で、公害被害者の医療費と補償費の支給と公害健康福祉事業がおこなわれています。企業の汚染負荷量に応じた賦課金と道路特定財源などが財源です。大気汚染公害による第1種指定地域と、水俣病やイタイイタイ病などの指定疾患による第2種指定地域があります。大気汚染の第1種指定地域は大都市圏や新産業都市など、工業が盛んな地域です。

制度ができて10年後、財界は「公害は終わった」とのキャンペーンで大気汚染の指定地域を解除しようと動きだします。1983年~1987年の間、大気汚染による公害患者たちはピラによく使われたイラスト指定解除の動きを阻止しようと、国会や臨時行政調査会(臨調)・省庁に足を運び、ピラを配り、世論を高める運動を続けました。毎月発行したこのピラには、公害患者の熱い思いが詰まっています。残念ながら1987年に大気汚染の公害指定地域は解除されました。(林)

やかた 館 訪問記

その11.
環境学習の情報や相談ができます
大阪府環境情報センター 環境情報プラザ
大阪市東成区中道 1-3-62

昨年の12月、大気汚染を測る機械(エコアナライザー)を借りに大阪府環境情報センターに行きました。そこで驚いたのは、設備が色々と整っていること。水質や大気が調査できる環境実験室があり、見たこと



環境情報プラザ

のない機器がたくさんありました。化学実験ができる施設はそうないので活用したいですね。また、情報プラザの本棚には、環境関係の図書がずらりと並んでいます。しかも、環境情報の相談にも乗ってくれます。教材の貸出など、環境学習をサポートしてくれます。

派手な展示施設はありませんが、実験設備と情報提供のサポートがしっかりしています。エコミュージムも見習いたいです。

(林 / 2006年12月18日訪問)

お知らせ

あなたもエコミュージムの輪に入りませんか？

Hamon 基金

Hamon (ハモン) 基金に協力して、いっしょにエコミュージムを育てましょう。みなさまからの基金は資料の整理やビデオライブラリーの充実、情報紙の作成などに大切に使います。

ボランティア隊「エコミュウ」

あなたも「エコミュウ」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。

例えばこんなこと・・・

【昭和初期ニュース映像のタイトル解説筆記】
内容：昭和初期のニュース映像という貴重なビデオテープの寄贈を受けました。画面に映るニュースタイトルの解説筆記のお手伝いをしてくれる人を探しています。歴史に興味のある人、漢字に強い人、お待ちしております。

こんな映像 関東大震災の復興、当時の捕鯨の様子や樺太の生活の様子など

交通費 = 実費支給(上限1,000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。

編集後記 待望のエコミュージムの紹介リーフレットができました。デザインは、ロゴマークの制作者であり、資料整理アルバイトの増田純子さんをお願いしました。「記録にふれ、心をひびかせ、エコーを広げる」というエコミュージムの願いをこめました。これからいろんなところに登場しますので、よろしく願います。

エコミュージムは青空を未来へ手渡す記録のひろば

「西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください」

開館 月曜日、金曜日(祝日は休み) 10:00AM ~ 5:00PM TEL:06-6475-8885[要予約]

利用 図書の貸出し期限は2週間。書庫資料や裁判記録は閲覧のみ

「資料館だより」No.12 2007年5月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属

西淀川・公害と環境資料館(エコミュージム)

連絡先 〒555-0013

大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル5F

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

Email: webmaster@aozora.or.jp

http://www.aozora.or.jp/shiryou

